

環境掲示板

植物観察会

主催 野川公園緑の愛護ボランティアの会

日時 10月4日(日) 13:00~14:30

11月1日(日) 13:00~14:30

集合 野川公園自然観察センター前

申込 直接会場へ

参加費 無料

問合せ 0422-31-9033

野鳥観察会

主催 野川公園緑の愛護ボランティアの会

日時 10月10日(土) 9:00~12:00

11月14日(土) 9:00~12:00

集合 野川公園自然観察センター前

申込 直接会場へ

参加費 無料

問合せ 0422-31-9033

植物観察会

主催 花と緑のまち三鷹創造協会

日時 10月23日(金) 9:00~15:00

場所 町田市小山田緑地周辺

編集後記

秋分の日も過ぎました。野川の景観が少しでもよくなるようにと、外来植物のアレチウリやオオバクサの除草を始めてから3年目の秋を迎えています。除草した範囲の植物は、除草していない範囲の植物とは、少しずつ様子が違ってきているようです。地道ではあっても、一歩一歩、しっかりした活動が、環境を変えて行くことを感じています。(安達)

対象 特になし 参加費 無料

定員 30名 (先着順)

申込 花と緑のまち三鷹創造協会へ電話
で(10月9日(金)締切り)

問合せ 花と緑のまち三鷹創造協会

電話 0422-45-8351

第52回井の頭かんさつ会

主催 井の頭かんさつ会

テーマ「実は種の秘密(仮タイトル)」

日時 10月25日(日) 10:00~12:00

事前に申込みが必要

参加費 300円

申込み 大原 kapock@parkcity.ne.jp

HP URL <http://www.kansatsukai.net>

影絵劇「はらぺこブタ」「虔十公園林」

観劇会

主催 環境対策課

日時 10月31日(土) 13:30~15:00

場所 連雀コミュニティ・センター体育館

対象 特になし 参加費 無料

定員 150名

申込 入場整理券を当日午後0時30分
から会場の入口で配布

問合せ 環境対策課 内線 2523~2525

発行: みたか環境活動推進会議

(愛称 みんなの環境)

連絡先: 三鷹市環境対策課

電話 0422-45-1151 内線 2523・2524

E-mail: kankyo@city.mitaka.tokyo.jp

本誌は、市役所、市政窓口、図書館、コミセンや市のHPから入手できます。

みたか環境ひろば 第17号

2009年10月1日発行

『ごみ』さらなる減量のため

可燃ごみ、不燃ごみが10月より決められた袋で出すようになります。これを機会に再度ごみの減量を考えてみました。

食料品

- ・買ったものは最後まで残さず使いきる
- ・残ったおかずはすぐ冷凍にする
- ・野菜は、なるべく皮ごと使う
- ・むいた野菜の皮は金平にする
- ・硬くなった食パンはフレンチトーストに
- ・魚の骨は油で揚げ骨せんべいに
- ・食材の余りはコンポスト容器で堆肥化に

ペットボトル

- ・お湯を入れて湯たんぽに(適温にして)
- ・水を入れてダンベルに
- ・ふたに小さな穴を開け自動水やり器に

牛乳パック

- ・いろいろな長さに切り周囲を気にいった包装紙や千代紙などを貼り小物入れやペン立て等に
- ・中に新聞紙をつめ幾つか張り合わせて子供用の踏み台や椅子に
- ・8センチ位に切り必要な数だけ組み合わせて引き出しに入れ靴下やストッキング等を入れる

ごみになる物は買わない

- ・マイバッグを使いレジ袋は断る
- ・詰め替え製品を利用する
- ・過剰包装は避ける

- ・袋詰めでなく量り売りで買おう
- ・不要なおまけは断る
- ・ビールや醤油、ソースなどの調味料等は洗って幾度も使えるリターナブルビンの物を選ぶ
- ・環境になるべく負担を掛けない暮らしのためエコマークの付いた商品を選ぶ
- ・リサイクル商品を積極的に選ぶ
- ・燃やしても埋め立てても安全で埋立地に負担のかからない商品を選ぶ

以上挙げた以外にまだまだ良い工夫があると思いますが、これはお勧めというアイデアをお持ちの方は、次のアドレスまでお寄せ下さい。

E-mail: kankyo@city.mitaka.tokyo.jp
(三鷹市環境対策課)

人が生活していくためにごみは避けられない物です。地球が悲鳴を上げていることに気付いた私たちは、一人一人が真剣にごみ減量に取り組み、限りある資源と、安全な環境を自分たちが守りたいものです。(森)



牛乳パックから作ったペン立て

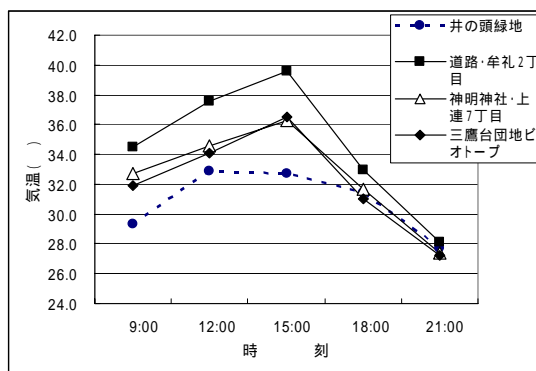
三鷹のクールアイランド

～ 暑い都市を緑で冷やす ～

地球温暖化やヒートアイランド現象の影響で、東京の平均気温は100年間に約3上昇したとされます。最近、市街地の再開発が進み、都心の舗装された幹線道路上の気温が40近くになるなかで、皇居や新宿御苑などの広域緑地から吹き出す風がそれよりも2～3低い「クールアイランド」をつくるのが実測されています。このクールアイランドは小さな緑地でも見られるとされ、都内各地で研究が始まっています。

三鷹でも市民グループ「住みよい三鷹をつくる三鷹市民連絡会」が、この5年間、真夏の1日を選んで身近な市内各地の同時刻の気温を測定し、比較するという自由研究を続けています。その一例として、猛暑日となった一昨年2007年8月のデータを図に示します。3時間毎の測定で15時に最高気温となり、なかでもその日の市街地幹線道路の最高気温が39.6を記録しました。同時刻、神社境内は36.3、団地内のビオトープの木立は36.5で、道路との気温差が約3、またこの研究で基準点と定めた井の頭緑地のなかの小鳥の森は、32.7で、実に6.9の差がありました。井の頭の広い「クールゾーン」のほか、神社の林などが小さな「クールスポット」となってい

図 三鷹市内の気温変化(2007年8月17日)



ます。また戸建ての家の裏庭が表通りと比べて真昼の気温が1.5～3.0低いことも測定でき、木陰や水辺の「涼しさ」を実証するひとつのデータとなりました。

市街地が広がり、ヒートアイランド現象の原因となる舗装路面や自動車、工場あるいは建物からの人工排熱が増えるなかで、失われたみどりを取り戻すことが必要です。全国各都市で広場の緑化、建物の屋上や壁面の緑化がすすめられています。緑化運動と同時に、いま残されているみどり、森、林、そして一本の樹木の葉陰がクールアイランド・スポットとして真夏の暑さを和らげることを知り、井の頭地区、大沢地区のほか市内に残る緑地や並木の樹木の大切さを改めて認識したいと思います。(山口)

第6期 緑のボランティア講座

10月17日から、全6回

緑の基礎知識・緑化実技を身につけるための連続6回の講座です。講師は東京農業大学教授の濱野周泰さんです。修了生は緑のボランティアとして市内の緑を守るために活動しています。

定員は、25人(先着順)

申込は、電話により花と緑のまち三鷹創造協会(電話0422-45-8351)に、10月5日(月)から10月9日(金)までに

講座は、午前10時から午後3時半まで。(午前中は講義、午後は実技、場所は、ICU、北野中央公園など)

持ち物 昼食は各自持参、筆記用具、作業用手袋、活動しやすい服装で参加してください。

(月日) (テーマ)

10月17日(土) 植物の基礎知識

10月24日(土) 樹木の剪定

11月7日(土) 雑木林の管理と育成

11月28日(土) 竹林の管理と育成

12月12日(土) 雑木林の自然

12月19日(土) 雑木林と人間生活、樹木観察

三鷹のみち : 堀合遊歩道

三鷹市の北西部に、玉川上水と南北に交差する「堀合(ほりあわい)遊歩道」があります。このみちは昭和34年に旧国鉄の線路跡につくられ、当時植えられた樹木がいまは大木となっており、よく手入れされた土の香りのする遊歩道となっています。

三鷹駅北口を線路に沿って西に進むと堀合児童公園があり、そこに遊歩道の入口があります。廃線跡をしのばせて緩やかに湾曲して北に延びる小径にはケヤキ、コナラ、クヌギなどの大木の並木がそびえています。最初の車道を横切ると桜並木となり、あたりには農地が広がっています。玉川上水に到ってこの遊歩



遊歩道入口

道は終わり、上水から北は「グリーンパーク遊歩道」と名前を変えて緑地が広がります。玉川上水と結んだ格好の散策路です。(山口)